

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ゆず本山ルーム		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 17日		～ 2026年 3月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 3月 17日		～ 2026年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2026年 3月 3日		～ 2026年 3月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20	(回答数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設(園・学校)への専門的な助言と連携	言語聴覚士、保育士、児童指導員等の専門家が直接施設へ赴き、お子様の生活をバックアップしています。担当の先生などから「アドバイスに助かっている」との評価を得るなど、施設側との良好な協力関係を築いています。	訪問先での共通理解をさらに深めるため、施設側の意向をより柔軟に支援計画へ反映し、現場に即した助言体制を継続します。
2	訪問支援内容のきめ細やかな保護者共有	訪問後に実施した支援内容について、保護者へ適切かつ迅速な共有を徹底しています。また訪問記録を都度記載し、丁寧なフィードバックを心がけています。保護者からは「きめ細やかな報告」に対して高い信頼をいただいています。	訪問先での様子をより具体的にイメージしていただけるよう、報告の質の維持・向上に努め、家庭と園・学校との橋渡し役を強化します。
3	専門的な見立てに基づく訪問支援計画の策定	お子様の客観的な評価、訪問先の状況や担任の意向を盛り込んだ個別支援計画を作成しています。ガイドラインに沿った具体的な内容設定が、全保護者から肯定的に評価されています。	お子様の成長や訪問先の環境変化に合わせ、定期的なモニタリングを通じて計画を適宜更新し、常に最適な支援を提供します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援で使用する教材や環境の可視化	訪問先でどのような教具・教材が使用されているか、保護者が直接見る機会が少ないため、「わからない」という回答に繋がっています。	保護者様がよりイメージしやすいよう、訪問支援記録の記載内容などを、より充実させていく取り組みを行います。
2	訪問先との緊急時連携フローの周知	訪問支援中の事故や災害等の緊急時における施設との連携計画について、一部の保護者に十分に周知しきれていない面があります。	契約時だけでなく、訪問支援計画の更新時や定期的な面談の際に、訪問先施設と共有している「緊急時連絡体制」などについて、改めて丁寧に周知・説明を行います。
3	訪問支援利用者への家族支援プログラムの案内	訪問支援のみをご利用されているご家庭に対しては、ペアレント・トレーニング等の家族支援の情報提供が十分に行き届いていない可能性があります。	モニタリング時や面談の際に、保護者からの困りごと聞き取りを詳細に行い、必要に応じて制度や活用方法の案内、困りごとへの手立て構築のアドバイスなどを行ってまいります。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ゆず本山ルーム
------	-------------

公表日 2026年 3月 30日

利用児童数 2026年 3月 30日 回収数 17

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	7			10		原則訪問支援において特定の教具や教材を持参することはありませんが、必要に応じて事業所教材を準備します。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	9	4	2	2	相談内容によっては、より安心できる環境であったほうがいいです。	プライバシーに十分配慮ができる体制をより強化させていきます。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	17					今後も継続していきます。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	17					今後も継続していきます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				今後も継続していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	1				今後も訪問先の先生方のご意向をしっかり聞き取っていきます。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		今後も継続していきます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	15			2		今後も継続していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					今後も継続していきます。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					今後も継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11		1	5	親も学べる機会があると嬉しいです(療育に通っていたときは色々と学べたので)	訪問支援をご利用の方の集い場など、対面・オンラインなどでの交流や研修の場を整えていく準備しています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					今後も継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		今後も継続していきます。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	16			1		今後も継続していきます。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	16			1		今後も継続していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	17					今後も継続していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1		1		ホームページ等で、訪問支援に関する情報提供もより積極的に行っていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			1		今後も継続していきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12			5		緊急時の連絡体制をより確実なものにしていきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1		今後も継続していきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	16	1				今後も安心して利用していただけるような取り組みを行っていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	17				きめ細やかな報告いつもありがとうございます。担任の保育士の先生もアドバイスに助かってるようです。今後ともよろしく願っています。	今後も、保護者様や園の先生方とお子様の状況についてしっかりと共通理解を持ちながら、成長をサポートしてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 3月 30日

発達支援ゆず本山ルーム

利用児童数

2026年 3月 30日

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	11	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・直接お伝えくださったことも、保護者から見せていただいてフィードバックもわかりやすかったです。 ・絵カードの手軽な作り方を教えていただけました。 ・お泊り保育の際にスケジュールカードを作る案を見せて下さったり、一日のスケジュールボードについてのアドバイスもとてもわかりやすかったです。 ・訪問後にお話しする時間がなく、説明等を受けることができませんでした。 ・回数が少なかったこともあり助言や説明までに至らなかった。 ・具体的な助言はさほどありません。 	当日、直接お話しする時間が確保できない場合でも、後ほどお電話やその他のフィードバック方法を通じて、訪問支援員の専門的な知見に基づいた具体的な手立てをお伝えできるようにしていきます。 保護者様向けの記録とは別に、施設側の先生方が現場で活用しやすい形での情報共有を徹底いたします。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とうまく関係を築こうとしてくださいました。 ・私自身保育者としてまだまだ未熟なので様々な支援を教えてください嬉しかったです。 ・判断する基準になるものがない。 ・よくわかりません 	単なる状況報告に留まらず、プロの視点から「なぜその対応が必要か」という根拠に基づいた助言を行います。 先生方が日々の保育・教育の中で「判断の基準」として活用できるような専門的な情報の提供に努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	11	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐフィードバックしてくださっています。 ・次回に質問内容について返事をいただいている。 ・どの質問、園での子どもの様子にも丁寧にご話してくださいました。 ・あまり質問をごちからしていません 	現場の先生方の困りごとに即時対応できるよう、訪問時のコミュニケーションを大切にします。 当日の回答が難しい専門的な内容についても、後日必ず訪問支援員からの見解を添えて回答し、継続的なサポート体制を構築します。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	7	7	4	<ul style="list-style-type: none"> ・直接支援でも間接支援でも児童は満足そうにしている。 ・学校では様子を見ていただいていたので困りごとの解消はしていません。 ・同じように悩んで一緒に考えていく姿勢。 ・親子関係のことも丁寧に見て頂き、幼稚園だけでなく一緒に支援を共有できてよかった。 ・情報共有に至らなかったことやゆずでの支援の仕方、過ごし方など。 	園や学校での生活がより円滑になるよう、施設の支援方針を尊重しつつ、専門職ならではの環境設定（座席の工夫や視覚的支援など）を提案します。 先生方と同じ目標を共有し、共に課題解決に取り組む姿勢を大切にします。

5	事業所からの支援に満足していますか。	8	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とても穏やかに児童に接してくれて、児童も嬉しそうに支援を受けていた。 ・ご家庭へのアドバイスや支援をしていただいている。 ・園での報告になり、事業所での具体的な内容が聞けない。 ・日程について、幼稚園んの行事に合わせて見に来て下さり、子どもの成長と一緒に喜ぶことができて嬉しかったです。 ・把握できていない 	<p>今後も、ゆずに来てもらってよかったと言ってもらえるような訪問支援となるよう、支援員のみならず、事業所スタッフ全員で真摯に訪問支援事業に取り組んでいきます。</p> <p>また、ご利用者と園や学校の先生の間には、相互の関係がより良くなる訪問支援となるよう取り組んでいきます。</p>
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校側がしてほしい支援を、予定が合わないことがあり、それがもどかしかった。 ・いつもありがとうございます。 ・学校での活動への影響を考え配慮していただきありがとうございます。ご家庭の方は事業所様からのアドバイスを大変参考にされておられるようです。 ・保育所等訪支援事業をまだ2回しか利用していないため、判断するだけの材料がありません。そのため今回は大変失礼ながら「どちらともいえない」に丸を付けさせていただきました。 ・個別の支援計画について話し合えると嬉しいです。園での支援、療育での支援が相乗効果になるといいなと思います。 ・要支援の子どもに対して、支援事業所がどのような計画で進められているのかわかれれば情報共有でき、子供にあった支援、援助の仕方ができると思います。 ・いつも大変お世話になりありがとうございます。ゆずの場所が中央区にあれば!!と切に思います。園が中央区なので保護者に進めても 遠いので…と言われ残念に思うのです。また研修してください。勉強になります。 ・保護者にお電話等で、当日の幼児の姿などを話し合えればよかったです。 ・3年間沢山お世話になりました。ありがとうございました。 ・いつも温かく見守っていただきありがとうございます。 ・直接支援、間接支援にしても、子供の用椅子を報告されても、と思う。 <p>実態を共有したうえでプロとしての助言がほしいと思っているので、見て帰るだけでは保育所等訪問の意味がないと思う。</p>				<p>【個別支援計画の共有】 園での支援と療育が相乗効果を生むよう、当事業所の「個別支援計画」を活用・共有し、目指す方向性のすり合わせを行います。</p> <p>【連携手段の多様化】 直接の対面が難しい場合には、お電話等でのフォローアップを強化し、その日の様子やアドバイスを迅速に共有できる体制を整えます。</p> <p>【専門的アドバイスの充実】 「見て帰るだけ」という印象を与えないよう、専門職としての具体的な環境構成や関わり方の提示を徹底し、訪問支援としての専門的意義を追求します。</p>		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ゆず本山ルーム					公表日	2026年 3月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4		間接支援なので使用していない			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		今後訪問数が増えると支援員の不足が考えられる。	スタッフの体制を整えていく。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		保護者の方のニーズ、お子様の困り感、学校園での状況などについて、事業所内、保護者様、訪問先事業所の先生方との共有をできる限り行っている。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		記録お渡しの際にアセスメントを行っている。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		訪問後の共有を行っている。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		入職時に総合的な研修を行っているが、定期的な研修の機会が少ない。	今後、児発スタッフ同様に定期的な研修を実施することも検討していく。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4		保護者の方との面談をできる限り行い、聞き取りを行っている。			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		訪問記録や状況を共有することで、状況やニーズに合う計画書の作成を行うようにしている。			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		訪問先のニーズをできる限り聞き漏らさないように丁寧な対応を心がけている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		学校・園との共有時間が十分に取れず、課題となる場合がある。	効果的な共有時間の確保について検討していく。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		直接の共有を行う機会はない。	ケースによって今後どのように共有していくかを検討していく。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		現在の状況や保護者の方のご要望により、訪問する場面を検討する等事前打ち合わせも行っている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		状況の把握や問題点、今後の支援について直接または記録にて共有し、検討につなげている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4		先生方のご対応や目標などに沿って訪問を行うことで、お子様の困りごとの改善や学校・園とご家庭の共有がスムーズに行われるような支援を、スタッフ一同心がけている。			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		丁寧な記録を心がけている。	丁寧だけでなく、より効果につなげるための考察などもしっかり考えながら記録していくことを心がける。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4						

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		必要に応じて参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者の方のご希望、または承諾がある場合に学校・園の先生方との共有を行うことができている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		保護者の方からはご希望を伺うこともある。	学びの機会の提供や、その情報についてホームページやブログなどでもご案内もしている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4		お伝えしているが、学校・園の受け入れ状況やニーズと合っていないのではないか、と考えられる場合もある。	今後、支援目的や方法の周知について検討していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4		計画書のご説明、記録のお渡しなどの機会に面談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4	十分に行えているとは言えない。	保護者の方のご希望に応じて、進級などの議題などを取り入れた交流を開いていくことを検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
訪問先施設への説明等	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4		ゆずの管理者が学校・園での研修を行うこともある。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4		訪問先のご予定に合わせて日程調整のうえ、訪問している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4		その場でお答えしたり、持ち帰って後日お伝えすることも含めて責任を持って支援に入らせていただいている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		意識を高めるために研修等を通じてスタッフに啓発している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		訪問における安全性には十分留意している。	より安全な訪問支援の手法について検討していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		入職時をはじめ、適宜研修を実施し、意識を高める取り組みをしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束に関する意識を高めるために啓発を行っている。	